

4月 (卯月・卯花月・鳥待月) April

〇メッセージ

新学期がスタートしました。2月、3月が寒かったこともあり、今年の4月はまだ少し寒さが残っているように感じます。始まりの月の良いところは、心機一転気持ちを入れ替えられることです。どのように1年間過ごすか考えてみて下さい。

最後の年度になりますが、引き続き図書館をよろしく願います。

〇連絡

今月の館内特集は「メッセージの伝わる本」

スポーツ本などメッセージの伝わる本を集めました。

時間があるときに、図書館を覗いて下さい。

〇4月の花言葉と誕生石

◇4月の花言葉◇

モクレン:自然への愛

スイートピー:優しい思い出・門出

◇4月の誕生石◇

ダイヤモンド:清浄無垢

斎藤佑樹と歩んだ1406日/應武篤良

社会人野球の選手として活躍した後新日鉄君津の監督を務め、2004年11月より早稲田大学の野球部の監督となった筆者が、甲子園で「ハンカチ王子」として脚光を浴び早稲田大学に入学した、斎藤佑樹選手との4年間を綴った本。斎藤選手と同学年でプロ野球に1位指名され入団した、福井選手や大石選手の話も出てきます。大学の4年間たえず注目され続けた状況の中で努力し続けた斎藤選手と、それを見守った監督の思いが伝わってくる本でした。(ベースボールマガジン社)

信じる力/大畑大介

小学生2年生からラグビーをはじめ、その俊足を活かして大学時代に日本代表入りし、神戸製鋼に入社後ラグビーW杯に出場するなど、日本のトップ選手として活躍した大畑選手が、ラグビーに対する思いを綴った本。大畑選手は2010-2011年シーズン前に引退を宣言し、2011年1月9日の試合を最後に、現役を退きました。現役復帰が難しいとされるような大怪我を経験しながら、乗り越えてきた大畑選手の強さは、自分の可能性を信じる力であることに気付かされました。(KKベストセラーズ)

ザッケローニ/セルジオ・ダッコーネ(宝島社)

サッカー日本代表のザッケローニ監督のイタリア国内のチーム監督としての活躍をまとめた本。プロ経験が無くアマチュアチームから少しずつ段階をあげ、セリエAの監督まで上り詰め、イタリアの名門チームを率いた経験を持っています。その一方で、監督として招聘されるのは、シーズン途中や残留がかかる状況などチームが傾いた状況で、その手腕を頼られることが多かったようです。自らが望みつつもチームを一から作っていく機会が少なかったザッケローニ監督が、日本代表をどう育てていくか楽しみになりました。

盤上のアルファ/塩田武士(講談社)

新聞社の花形である社会部を担当していた秋葉は、上司の意向で将棋の記事などを扱う文化部に異動させられることになりました。すっかり落ち込んだ秋葉は、将棋を通して様々な人々と会うこととなります。その一人である33歳で家と職を失った真田信繁は、プロ棋士の編入資格を得るための試験に挑戦するか迷う最中に、秋葉と出会い挑戦を決めました。8戦のうち6戦以上勝たなければならない厳しい状況の中で、真田の挑戦の結末は…知力と体力両方を使う将棋のスポーツとしての一面を感じる作品。

チーム/堂場瞬一(実業之日本社)

箱根駅伝を舞台にしたフィクション小説。箱根駅伝の予選会で破れたチームの中から、個人成績が上位のタイムの選手が集められ、箱根に挑戦する学連選抜チーム。チームとしての平均タイムは上位の大学に匹敵する力を持ちながら、チームのまとまりを欠いていました。監督は、前年の箱根駅伝のアンカーとして走り途中棄権の屈辱を味わった、浦をキャプテンに指名するものの、チームとしてまとまるには時間が限られていて…様々な問題を抱えながら臨んだ、箱根駅伝の結末は!?

その他のスポーツ本

〇スポーツから気づく大切なこと。/中山和義 実業之日本社

スポーツをすると様々な良さがあります。その良さについてまとめた本。「運動」と「スポーツ」の違いに納得です。

●武田幸三 弱虫の美学/武田幸三×森沢明夫 大和書房

21歳でリングに上がり、37歳で引退した格闘家武田幸三の、人柄や生き方、考え方をまとめた本。

〇スローカーブを、もう一球 山際淳司 角川書店

●いじめられっ子のチャンピオンベルト 内藤大介 講談社